

事業番号	04 07 24	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家庭的養護推進基盤強化事業			担当課	部局 県民文化部		
					課・室 こども・家庭課		
					E-mail kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現 3 子育て支援体制の充実		実施期間	H27 ~ H27		

1 事業の概要

目指す姿	子育て支援のセーフティネットに位置づけられる社会的養護において、利用する子ども等にとってより良い支援が提供されるよう、県の家庭的養護推進計画が円滑に実施される姿を目指す。
------	---

現状 (予算編成時)	施設では、施設の小規模化・地域分散化を進める必要がある中、職員の担い手の確保が課題となっている。また、当県においては里親等に委託される児童の割合が低く(H25年度末 約1割)、これを計画において3割に引き上げていく必要があり、受け皿となる登録里親(H25年度末 162世帯)を大幅に増やしていく必要がある。これらはいずれも推進のための重要な基盤となるものである。
------------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：今後実施予定 【左記の説明、根拠法令等】 児童福祉法2条、27条1項3号 「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進について」(厚生労働省)
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	説明会等の視聴時のアンケート(評価の割合) ①+②の割合 平均60% 5段階 ①とても関心が深まった、②関心が深まった、③どちらでもない、④あまり関心が深まらなかった、⑤関心が深まらなかった					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
社会的養護への理解促進、担い手確保	委託	説明会等で幅広く使える施設・里親に関する理解促進、担い手確保を目的とするVTRの作成	2,808	2,743	—	
			合計	2,808	2,743	—

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算			2,808	
	補正予算			0	
	合計(A)	0	0	2,808	0
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金			2,808	
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	0	0	2,743	
概算人件費	職員数(人)	0.00	0.00	0.05	0.00
	概算人件費(C)	0	0	414	0
概算事業費(B(A)+C)		0	0	3,157	0

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
視聴者の関心の深まり	—	60%	100%	達成	—

目標に対する成果の状況	施設・里親に関するVTRは、施設での生活の様子や里親による養育の様子を一般の方々にも理解してもらえる内容となった。また、児童福祉施設(児童養護施設・乳児院)の仕事についてのVTRは、学生の関心の深まりがうかがえた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 事業自体は単年度事業のため今後の実施予定はないが、完成したDVDを説明会や研修会等で使用し、施設・里親に関する理解促進、担い手確保を目指す。
--------------------	---